

対象クラス	第2学年 全科	単位数	2
使用教科書	高等学校 標準文学国語(第一学習社)		
使用副教材	漢字とことば(中部日本教育文化会) トータルサポート新国語便覧(大修館書店) 現代文ウィニングクリア1(尚文出版)		

「文学国語」とはこんな科目です。  
文学作品の読解等を中心に、言語活動を通して、言語や伝え合いに関する資質・能力を育てます。特に、以下の項目について意識しよう。

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、言語文化への理解を深めよう。
- (2) 共感したり想像したりする力を伸ばし、創造力を養おう。他者と伝え合う力を高め、自分の思いや考えを積極的に広げたり深めたりしよう。
- (3) 言葉がもつ価値を実感し、読書に親しみ、言語文化の担い手として、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おう。

科目の到達目標(目標とする検定等)

- ・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に対する理解を深める。
- ・深く共感したり、豊かに想像する力を伸ばし、創造的に考える力を養う。
- ・他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- ・読書に親しみ、言葉を通して他者や社会と関わろうとする。
- ・漢字検定準2級程度の語彙力をつけ、的確に文章を理解・表現できるようにする。

評価の観点	割合	評価規準・評価内容	評価の場面・方法等
知識・技能(技術)	4	・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	・授業態度 ・提出物 ・定期考査
思考・判断・表現	3	・「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力や、創造的に考える力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	・授業態度 ・提出物 ・定期考査
主体的に学習に取り組む態度	3	・言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。	・授業態度 ・提出物

学習計画(どのような内容を、どのような時期に学ぶのか)

	単元名	学習内容	学習活動のねらい
前期中間	・現代の小説(一) 【前期中間考査】	・調律師のるみ子さん ・デューク	・現代小説のおもしろさを味わい、読解のしかたを習得する。 ・小説の構造や人物の心情について考える。 ・人生の機微や転換点について考える。
前期期末	・現代の詩 ・現代の小説(二) ・言語と生活 ・随想 【前期期末考査】	・そこにひとつの席が 他詩2篇 ・相棒 ・ナイン ・花のいざない ・真珠の耳飾りの少女	・近代詩・現代詩に親しみ、主題を味わい、鑑賞の仕方・技法を学ぶ。 ・登場人物の心情や関係性の変化をとらえる。 ・作品の主題について考え、現代小説のおもしろさを味わう。 ・随想の中にある、読み手の関心を惹きつける工夫を考える。 ・紹介されている文化や芸術について理解する。
後期中間	・近代の小説 【後期中間考査】	・鼻 ・こころ	・近代の代表的な小説の読解力・鑑賞力を身に付ける。 ・小説表現の豊かさを学び、以後の読書生活に反映させる。また、人間の複雑さを読解し、自分に引きつけて考える態度を養う。
学年末	・戦争と文学(一) 【学年末考査】	・バグダッドの靴磨き ・わたしが一番きれいだったとき 他詩2篇	・異国を舞台にした小説を読解し、主人公の置かれた環境と、人間の価値観や人格形成について考える。 ・作品の構成の意図や、託された思いを学び、戦争についての意見や考えをもつ。 ・詩の鑑賞と技法のレベルを高める。